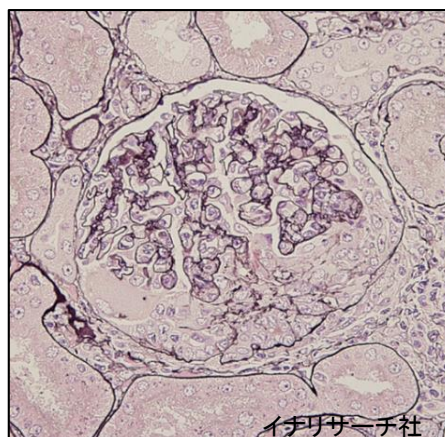
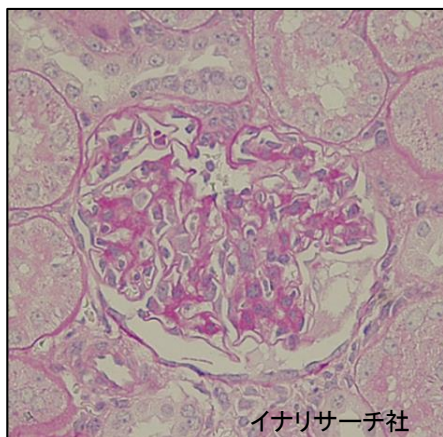


# 腎炎の研究試薬

## 1 タイプIVコラーゲンNC1領域(K35 NC1)を用いた腎炎モデル 世界で初めて作製されたカニクイサルの組織染色像です。



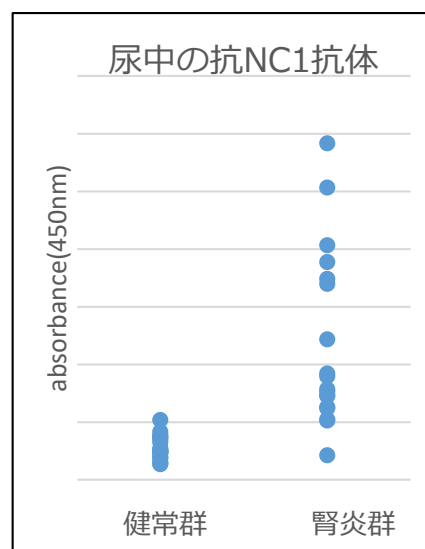
Appearance of large vacuolated cell or giant cell in the urinary space.  
No. 2301, PAS and PAM stain

## 2 腎組織の損傷を知る抗NC1抗体の測定(K36, Pat.)

抗NC1抗体の測定は尿蛋白、クレアチニン、eGFRなどと異なり、腎臓の組織基底膜の傷害、炎症の目安となります。

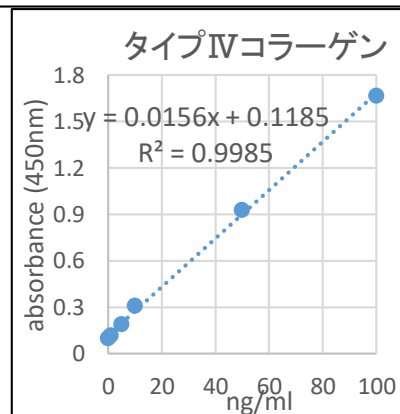
### 関連試薬

- 1) 抗GBM抗体腎炎の陽性標準に；サル抗血清
- 2) ラット腎炎モデルの陽性標準に；ラット抗血清
- 3) 基底膜組織の免疫染色に；  
抗タイプIVコラーゲン抗体(K34POLY)
- 4) 疾患腎と健常腎を染め分ける；  
抗NC1モノクロー抗体(K35MONO, Pat.)



## 3 タイプIVコラーゲン測定キット (K79L)

- ヒトからマウスまで測れる 初めてのキット
- 培養上清から血清や尿までと検体を選ばない
- 測定手法は 簡便なサンドイッチELISA法
- 標準曲線は 5ng-100ng/ml まで直線性



### コラーゲン技術研修会

Tel: 0424-95-1995, Fax: 0424-95-1990

URL: <https://www.collagen.center/>

\*コラーゲン技術研修会は、1981年世界で最初にタイプIIコラーゲン(K41,K42,K43)を関節炎モデルの惹起原として製品化しました。